

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.84

日時	2014年3月30日
行脚先	福岡城(舞鶴城)
住所	福岡県福岡市中央区城内(筑前国)
行事名	

特徴

福岡城は、福岡初代藩主黒田長政によって、慶長6年(1601年)から7年をかけて築かれました。前年に豊前国(大分県)中津から筑前に入国した当初は、小早川隆景の居城だった名島城に入りましたが、治政の都合からここ福崎の丘陵が新しい城を築く適地として選ばれました。城の名前は、黒田家再興さいこうの故地である備前国(岡山県)邑久郡福岡にちなみ、福岡と名付けられました。

この城は、東側を那珂川で画し肥前堀・中堀を構え、西側の干潟地を深く掘って大堀とし、正面の北側は内堀を構えて海側に城下町を配し、搦手からめてである南側は赤坂山を掘り切って四周を水堀に囲まれた平山城としています。

城域は土塁や石垣によって三ノ丸・二ノ丸・本丸に区画され、石垣の上には47棟の櫓やぐらが設けられるなど、重厚な城構えとなっています。

総面積は24万坪(約80万平方メートル)で、全国でも有数の規模を誇っています。

黒田官兵衛との関わり

福岡城は、関ヶ原の戦いでの功績によって徳川家から筑前52万石を与えられた福岡藩初代藩主・黒田長政が、慶長6年(1601年)から7年の歳月をかけて那珂郡警固村福崎の地に築城したものです。

築城には、7か年を要し、石垣積の名人といわれた重臣野口一成のさせずによって、5メートルから15メートルにおよぶ石垣がめぐらされ、今もなお、その規模の雄大さを誇っています。

記録

